

農林大学校の動き(R3年10月)

2021. 11. 10

島根県立農林大学校（担当：教務 三宅）

TEL:0854-85-7012 FAX:0854-85-7113

<https://www.pref.shimane.lg.jp/norindaigakko/>

◇◇農林大の学生達の日頃の活動状況、いろいろな行事などを簡単にご紹介します◇◇

※新型コロナウイルス感染症対策を十分に講じた上で、できることを取り組んでいます。



○令和3年度10月入学生の入学式を行う(10/5)

農業科短期養成コース5名、林業科早期養成コース3名の入学式を大田本校「農業研修館」で行った。農業科短期養成コースは、4月の入学生と合わせて計18名となった。



○県内高校生の体験学習を受入(10/6、10/21)

松江農林高校生物生産科1年生41名(10/6)、矢上高校産業技術科1年生35名(10/21)が、農業科各専攻で作業体験を行った。各専攻では、1年生が主体となって指導役となり、野菜の収穫や花の管理作業、ぶどうハウスの修繕や牛の餌やり等を行い、農業の楽しさを味わってもらう良い企画となった。



○肉用牛専攻の学生が全共に向けて決起集会に参加(10/16)

農業科肉用牛専攻の学生2名が、来年10月に鹿児島県で開催される「第12回全国和牛能力共進会」(全共)へ向けた決起集会に参加した。全共は、5年に1度開かれる国内最大の品評会で、農林大からも出品を目指す。学生は「島根県を代表し、全国入賞を狙える牛に育て上げていく」と決意表明した。



○農留体験報告会—農業科—(10/19)

先進農林業者等体験学習に参加した農業科2年生による報告会が行われ、それぞれ体験から習得した知識や技術について報告した。この体験学習は、卒業後の進路選択としてとらえている学生も多く、皆真剣に取り組み内容等について話をした。



○農業科2年生が県内でマーケティング研修を実施(10/29)

農業の生産だけでなく流通・販売の基礎知識の習得と、卸売市場及び仲卸の実態を知ることにより、担い手になった際の販売イメージ醸成を目的として、県内の卸売市場(出雲大同青果株式会社)で講義を受けた後、施設見学を行った。

午後からは安来市のやすぎ観光みかん園を訪れ、開園までの経緯と、販売・経営戦略について話を伺った。観光農園経営に興味のある学生もおり、先行優良事例を知る良い機会となった。

・*皆様のご意見、ご感想をお待ちしております!*・